

令和4年2月 文書質問及び回答

1 質問者 春日隆司議員

2 質問事項 企業誘致について

質問の内容・要旨	回答
<p>1 地域振興は、地場資源を活用して、企業体をつくることが一番大事であります。一方で、事務所、工場などの企業誘致も、雇用の拡大、税収の確保、人口動態などさまざまなメリットがあります。そこで、町では、条例等に基づき政策誘致を行ってきました。</p> <p>国では、都市部から地方へのヒト・情報の流れを創出する制度整備がされ、コロナ下もあってサテライトオフィス（企業、団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィス）誘致は加速化されます。道内でも積極的な政策誘導を図られ、成果が出ている市町村が多々あります。（町1件実績有）</p> <p>① そこで、先進事例・取組を参考にしながら、森林・環境・エネルギーに特化して、政策誘致のための調査、制度設計を進めてはどうか。</p> <p>2 町は、森林・環境・エネルギーに関する取組を先駆的に行ってきました。情報化社会においては、このことは、国内外を問わず、マスコミや自らの情報発信によって、自治体、業界、関係者等を問わず広く周知され、確たる位置付けがなされています。</p> <p>こうしたことからも、全国での事例報告・発表を求められるようになっています。</p> <p>こうした中、町長は、町外の講演会等において、「三井物産という企業を誘致しまして、発電事業をスタートさせました。」「北海道バイオマスエネルギーを誘致した。」と説明されているようです。（根拠有）</p> <p>ご案内のとおり、誘致企業でないことは、経緯・経過からも明らかで、そして担当課（者）の認識も同様であります。</p> <p>対外的に重要なことは、偽のプロパガンダ（政治的意図を持つ宣伝）ではなく、事実と将来に向かっての目指すべき姿を詳らかにし、町の取組の理解者と支援・協力・協働者を増やし、さらなる地域活性化に結び付けるよう努めることが基本的な主旨で、非常に意義深</p>	<p>① サテライトオフィス、ワーケーション等については、これまで取り組んでおり、実績としてサテライトオフィスは2件、ワーケーションは1件の実績があります。</p> <p>下川町の優位性である森林・林業・エネルギーに特化して、企業誘致を進めることは効果的であると考えることから、調査研究を行い、関連する企業等に提案するなど進めてまいります。</p> <p>② 北海道バイオマスエネルギー（株）につきましては、町が企業立地促進条例などにより支援した企業ではありませんが、町の取り組みに対してご理解をいただき、情報交換などをさせていただいた中で森林バイオマスを活用した発電施設を町内に設置いただいたところであります。</p> <p>今後におきましても、同社には関連する事業など、本町の地域活性化のため、更なる連携・協力関係を築いてまいりたいと思います。</p> <p>なお、これまで町が誘致した企業は、マトラスター・テクノクラシー（株）（当時：（株）松澤光学）、スズキ（株）、王子ホールディングス（株）の3社となっております。</p>

いものがあることから、惜しまず講演会等に出向き積極的に情報発信に行ってきましたと理解しております。

先のとおり、町の情報は流布され、さらに関係者、業界などへ拡散周知され、その場限りで完結するものでなくなっています。事実に基づかない情報発信・発言は、コンプライアンス(社会規範等)が問われることとなり、町益にはつながりません。企業誘致は相手があります。迷惑を被る関係者等の声があります。

② そこで、公式見解を表明する必要があります。これまで町が誘致した企業はどこでしょうか。